

かわぐち

2003. 11月号 No.362

今月の主な内容

- 川口橋、牛ヶ島大橋(仮称)の工事着手…2~3
- フォトコンテスト審査結果……………4
- 健康福祉フェア開催……………5
- 生きがい見つけます(シルバー人材センター)…6~7
- 子育て支援だより……………8
- トレーニング器具紹介……………9
- 町職員の給与等公表……………10

ほか

かわぐち歴史探訪 ⑳

戊辰戦争とスネル



▲蚕種紙を中心にしての品定め

川口における戊辰戦争は、不穏な幕末を象徴するものだが、庶民感情としては官軍とか新政府に対して好意的だったとは言えないようである。

庶民からすれば、このような戦争よりも、世直し一揆に関心があったらしい。

新潟港のオランダ商人スネルの武器庫は、奥羽越列藩同盟軍の武器供給基地であったことから征討軍の標的となり、同盟軍と征討軍の間で激しい戦闘が行われ、征討軍に大量の武器を奪われたという。スネルはこの損害を新政府に賠償請求し、政府は明治6年に4万ドルをスネルに支払ったという。

スネルは武器の売買をしていたこ

とから、死の商人とも言われたが、蚕種を買い付けて新潟港から輸出もしていた。魚沼や信州の商人は柏崎県に対して明治2年スネルに売った蚕種代金を支払うよう取り計らってもらいたいと訴えている。この代金965両余であり、134両を内金にして後は鉄砲と時計で支払いたいのことで困っている…という内容であった。

訴人代表は根小屋村の伊左衛門で、魚沼の商人16人。その中に和南津村亀吉の名もある。(堀之内町史資料編下による)

この背景にはヨーロッパでの蚕の病気が流行していたことがある。主に横浜から輸出されていたのであったが、新潟からも輸出されていたことが判るのである。

あとがき

▼11月に入り一雨ごとに寒さが増してきました。先日、シルバート人材センターの皆さんが雪囲いをしていて姿を見て、冬が近づいてきたことを実感しました。毎年思います、いつ自動車のタイヤをスタッドレスタイヤにはきかえようかと。▼10月14日、フォトコンテストの審査が行われました。先月号でも報告のとおり私もコンテストに応募しましたが、惜しくも入選を果たせませんでした。審査風景を取材に行った時、他の方の撮影した作品を見ることができました。技術も素晴らしいですが、皆さんの川口町を見る、さまざまな視点、シャッターチャンスのをうまくには驚かされました。いい写真をたくさん見てもっと勉強したいと思います。

木沢小学校創立125周年・閉校記念式典



木沢小学校創立125周年、閉校記念式典

木沢小学校は明治12年創立で卒業生総数は1,043名、地域とともに支え合いながら歩んできた学校です。同校は来年3月31日で125年の歴史に幕を下ろします。

10月26日に行われた式典では在校生3名がひとりひとりの木沢小学校での思い出を発表、最後の「木沢小学校ありがとう、さようなら」という生徒の言葉に会場は感動に包まれました。

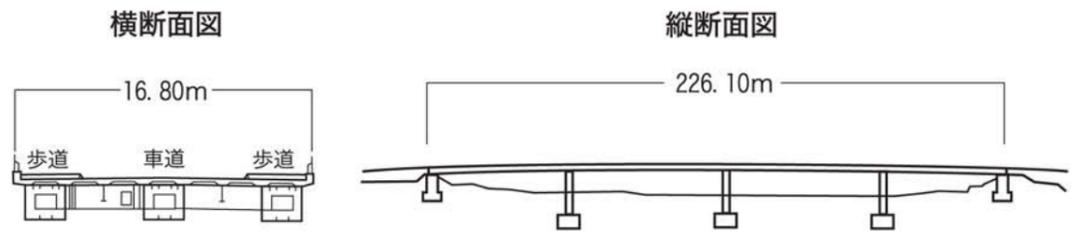
新たな交通の拠点として

川口橋と牛ヶ島大橋(仮称)の建設工事始まる



▲新川口橋の工事箇所

川口橋の大きさ



川口橋は、老朽化や交通量の増大などに伴う架け換え工事が、牛ヶ島大橋(仮称)は、農免農道の整備に伴う建設工事がそれぞれ始まっています。直接私たちの生活に関わる橋の構造や大きさなどについてお知らせします。

新川口橋の橋台工事に着手

現在の川口橋は、昭和29年に建設されたもので約50年が経過し老朽化が著しく極めて危険な状態であるとともに、当時とは比較にならない交通量の増大と車両の大型化により、幅員が狭く早急な架け換えが必要となっています。

川口橋は、東川口地区と西川口地区を結び、国道17号から関越自動車道越後川口インターチェンジへ接続する唯一の橋であり、その重要性は極めて高いものです。

町では、橋を管理する新潟県(小千谷土木事務所)と、用地買収・補償交渉を行うとともに、住宅用地を造成し関係者の協力を得ながら事業の進捗を図っているところ

です。

この度、右岸側(東川口側)の橋台工事が発注となり、本格的に工事が着手されました。

新川口橋の大きさは

新しい橋は、二車線と両側歩道で全幅16・8m、全長は226・1mの計画です。

構造は橋脚の本数を減らせ川の流れを妨げることが少ない「4径間連続鋼箱桁」といわれるもので、両岸に橋台がそれぞれ一基、魚野川の中に3基の橋脚が予定されています。

橋が完成すると、現在の朝夕の混雑、冬期間の不便が解消されるとともに、余裕のある歩道で、歩行者も安心して通行できるようになります。

「牛ヶ島大橋(仮称)」橋脚工事に着手

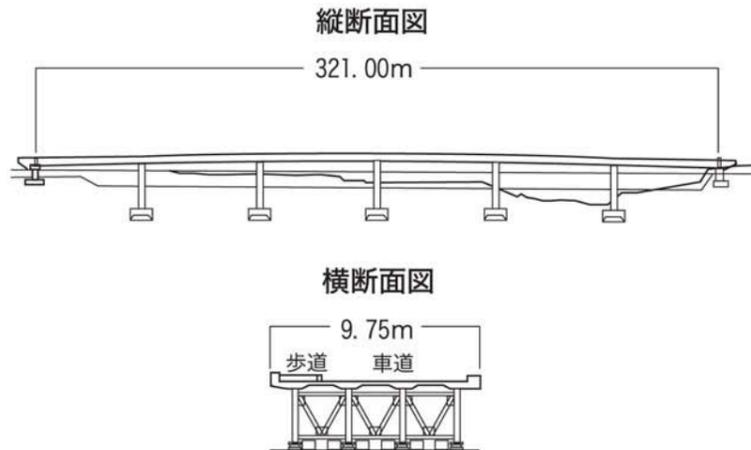
農免農道牛ヶ島地区は、総延長1、545m、総事業費約28億円、町の基幹産業である農業の近代化、合理化を図るため、新潟県が施行する事業です。

この事業は、西倉橋の西詰から、岩平、桑巻を通り牛ヶ島の県道に接続するルートで計画されており、桑巻地区から牛ヶ島へ渡るた



▲牛ヶ島大橋(仮称)の工事箇所

牛ヶ島大橋(仮称)の大きさ



め、信濃川に「牛ヶ島大橋(仮称)」が計画されています。

牛ヶ島大橋(仮称)は、二車線と歩道で全幅9・75m、全長321mの橋梁で、この橋を支えるための橋脚工事が始まり、平成17年度末までに5基の橋脚が建設される予定です。

その後上部工に着手し、平成19年度完成を目指しています。

環境に配慮しながら建設

橋脚の長さは約25m×27mで周辺環境への影響が少なく構造物と

しての信頼性が高い、ニューマチックケーソンといわれる工法で建設されるもので、小千谷大橋・長岡大橋・本州四国連絡橋・レインポーブリッジ等の基礎・橋脚もこの工法で建設されました。工事は、河川の水位が低い10月から3月までの間に限られるため、4月から9月末までは工事を行いません。これにより、鮎などの魚類への影響も最小限に抑えられます。

来年3月末までに2基の橋脚が桑巻側に完成する予定です。

※ニューマチックケーソン工法
予め地上で下部に作業室を設けた鉄筋コンクリート製の構造物を築造し、作業室に地下水圧に見合う圧縮空気を送り地下水を排除し、常にドライな環境で掘削、沈下させることで所定の位置に構築物を設置する工法



▲筋肉量や骨量などがわかる「体組成測定」

▲誰でも飽きずに続けられる「健康運動教室」

運動でつくる健康づくり 健康福祉フェア開催

10月5日、生涯学習センターにおいて「運動でつくる健康づくり」をテーマに健康福祉フェアが開催されました。

元読売巨人軍投手新浦壽夫氏をお迎えして「ぼくと野球と糖尿病」と題した特別講演をはじめ、新幹線の車内誌やNHKでも紹介された、「遊亀庵」のメニューにもなっている「郷土食の試食会」、健康についての悩みなど相談できる「まちの保健室」、「痴呆にならないために」と題した寸劇、「福祉団体バザー」など多数催され、大勢の参加者で賑わいました。

新幹線の車内誌やNHKで紹介された郷土食

にしんだいこん…その昔、正月にはなくてはならないごちそうだった。
けんさん焼き…生姜味噌が定番、お茶をさらりとかければ、さっぱりとした口当たり、生姜で体もほかほか
ざわ………幻の郷土食、塩小豆の風味がさっぱりとして大変美味



美 食 や 運 動 不 足 が 発 症 の 原 因 と 言 わ れ る 糖 尿 病 。 人 一 倍 体 調 維 持 に 神 経 を 遣 う プ ロ の ス ポ ー ツ 選 手 が 何 故 と 思 っ て し ま っ ぽ う 。

かつて、後楽園球場で読売ジャイアンツの投手としての勇姿を思い重ねながら新浦氏の講演を聞いた。豊富な選手生活、解説者としてのプロ野球界のエピソード。さすがと思いつつ聞いた。



▲新浦氏の特別講演「ぼくと野球と糖尿病」

新浦氏の講演を聞いて

氏は、現役時代、夜な夜な銀座で夜更けまでの飲食をしていたことや韓国球団在籍中の大変なストレスなどを語っていた。

糖尿病の怖さは、合併症の発病もあるため食生活の改善や治療を受けながら、体調維持に努め、選手生活を送ったという。特に、ウォーキングなどが生活習慣病の予防に効果があるとも語っていた。ウォーキングは、内臓や血管の強化に有効であり、健康維持のため、是非ウォーキングをと結んだ。

川口2 桜井 サト

自ら、血糖検査、注射、食事の選択をするにはかなりの精神負担や食べたい誘惑もあったのではないかな。失敗談や苦労話を聞く時間がなく残念に思いました。

30代後半から50代前半は、働き盛りだけけれど、健康を考える時、関心が低い。この年代のうちから、自分の健康維持に目覚めて努力していけば、老後に二病でも三病息災でもがらばっていけるんじゃないだろうか。

プロ野球で心身共に鍛えられた方、筋金入りの人生への取組みを教えられた感じがいたしました。



魅力あふれるフォト大集合 第6回フォトコンテスト入賞作品決定

川口町の四季折々の美しい大自然と人々の暮らしをテーマに作品を募集した「第6回川口町フォトコンテスト」。町内外の写真愛好家から計175点にも及ぶ応募があり、審査員の山田昌男さん（日本写真家協会会員）と星野町長による厳正な審査の結果、最優秀賞は佐藤権さん（長岡市）の「朝の始動」、町長賞は桑原晃さん（三条市）の「夏の日」に決定しました。



最優秀賞「朝の始動」佐藤 権



町長賞「夏の日」桑原 晃



審査する山田さんと星野町長



特別賞「仮設大栈橋完成」星野忠明



優秀賞「火祭りの男達」阿達一之

●山田昌男さんの講評
川口町フォトコンテストは、私にとりまして大変興味深いコンテストです。今回もすばらしい作品が数多く出品されました。特に人物作品が増えた事、町の生活スナップなど風景写真だけにとられない自由な作品がとても目に付き写真の広がりを感じました。技術的には毎年向上していると実感し大変嬉しく思っています。

- 入賞者（敬称略）
- ▼最優秀賞 佐藤 権（長岡市）
 - ▼町長賞 桑原 晃（三条市）
 - ▼優秀賞 「火祭りの男達」阿達一之（新潟市）
 - ▼特別賞 「仮設大栈橋完成」星野忠明（木沢）
 - ▼富士フィルム賞 燃える夏祭り「植木 元（柏崎市）
 - ▼フジカラー賞 フジカラー賞
 - ▼雪上花火「 広川信俊（長岡市）
 - ▼新潟日報社賞 「夏の思い出」 平原正幸（三島町）
 - ▼審査員特別賞 「フィナーレ」 阿達一之（新潟市）
 - ▼入選 「慎重にネ」 古田島正佳（中山）
 - 「バランスがきまっちゃね」
 - 「牛ヶ島の渡し」和田 實（小千谷市）
 - 「ポーズ決まったでしょう」
 - 「一服しよいや」外山和子（湯之谷村）
 - 「ブルースカイ」星榮五郎（広神村）
 - 「女みこし」 風間正也（長岡市）
 - 「幸せだねえ」阿部千寛（見附市）
 - 「おらが街の女みこし」
 - 「棚田散光」 山岸守二（川西町）
 - 井上宗昭（大和町）
- ※なお、入賞作品及び応募作品は、11月1〜3日の「えちごかわぐち物語秋まつり」において展示されます。

いきいき生きがい見つけます シルバー人材センターで新たな生きがいを

退職などで、第二の人生をスタートさせた時、自らの生きがいを充実させることは、実りある人生を送るために重要なことです。生きがいといっても、生涯学習や、ボランティア、またゲートボールなどのスポーツ、レクリエーション、趣味などさまざまあり、自分にあった生きがいを見つければいい。方も多いようです。

シルバー人材センターは高齢者の持つ知識、経験を生かして働ける場で、高齢者の生きがいを充実させる手段のひとつとして注目されています。同センターの活動内容などを紹介します。これを機会に新たな生きがいを見つけてください。



▲料理講習会
このほかにも障子張り、植木の冬囲い、パソコンなどの技能講習会を行っています。



▲除草作業の様子

シルバー人材センターとは

働く意志と能力を持つている健康な高齢者が、自らの知識、経験を生かして雇用関係を有せずに補助的、短期的な仕事ができる場です。また高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与していくことを目指しています。

(社)川口町シルバー人材センターは平成11年に発足し会員数は17名(平成15年8月現在)、昨年度の仕事受注件数は83件です。

人材センターで働きたい方

- ◆会員になれる方は
概ね60歳以上で町内在住、健康で働く意欲のある方
- ◆入会の手続き
直接事務局へお出でください。入会申込書を提出して頂き、理事会で承認されれば入会できます。会費は年間1300円(互助会費300円含む)です。
- ◆仕事をするには
入会申込み時に申告した希望する職種に受注が入った場

- こんな仕事をしています
- 障子、襖張り
 - ペンキ塗り
 - 宛名書き
 - 家事援助(清掃、洗濯など)
 - 草取り・草刈・除草剤、防虫剤散布
 - 自動車運転
 - 植木剪定
 - 冬囲い
 - 集金、配達
 - 屋内軽作業・屋外軽作業(土木補助、農林清掃、軽除雪)
 - 正月用しめ縄・藁草履など

入会手続き、仕事の発注など詳しくは(社)川口町シルバー人材センター事務局までお問い合わせください。
☎ 89-2760

「会員の声」

一期一会ウツリヤ



中沢昭一さん

朝の暖かい布団の中で何処で見たのかなかなか思い出せないでいた。「一期一会」という書である。その書に特別な思いがあった訳ではないが何故か気になっていた。遊亀庵の廊下の壁に掛けていた書だと言う思い出した。「一期一会」とは、茶道の言葉で全ての客を、一生に一度しか出会えないものとして、悔いのないようにもてなせという教えだそうである。私は生涯学習センターに勤めさせていただき大勢の利用者の皆様と出会う機会に恵まれていきます。

出会い生きがいを感じて



小林満代さん

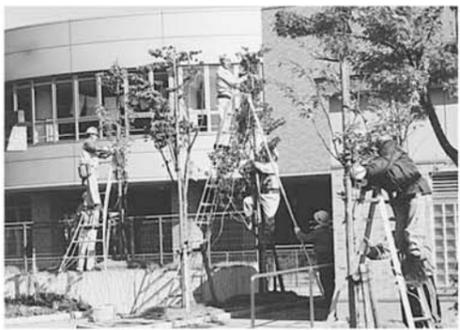
朝の子守りも終わり、自分の役割が一つ終わってホッとした様な気がするが少し淋しいように思っていた。そんな時、シルバー人材センターという場に出会い生きがいを感じています。友達も出来、皆様から色々なアドバイスを教わり仕事をさせていただき勉強にもなり、少しポケてきた頭に刺激を与えてもらい喜んでおります。お客様から声をかけていただいたり、親切にしてくださいと頼まれます。仕事をしなれば仕事は、仕事をしていくと、仕事をするには、規則正しい生活になり、働いていると1日があつという間に終わります。仕事があると張り合いがあり、緊張感も心地よく外で働くことが楽しみにもなりました。これからも健康に留意して皆様と少しでも多く触れ合えれば幸いです。

地域のために働きたい

シルバーの日に奉仕作業実施

全国で10月をシルバーの日と定め、シルバー人材センターの理解と認識を深めてもらう動きが広がっています。川口町シルバー人材センターでは奉仕活動を以前から行っていました。今年から10月第3週をシルバーの日と定め、奉仕作業を通してシルバー人材センターの活動を広く知ってもらうことになりました。

10月18日、シルバーの日の奉仕活動としてセンター会員61名は分担して、あおりの里



の植木の冬囲いと、ぬくもり荘の窓ガラス清掃作業を実施、会員の皆さんは手際良く作業を進めていました。

この作業で、窓ガラスはきれいになり、冬囲いの準備も終わり施設利用者は気持ち良く利用できるでしょう。

これからも地域に役立つ活動を行い、皆さんから親しみを持っていただけるシルバー人材センターを目指していきます。

シルバー人材センターを活用して

樹土木(株)

景気の低迷が長引く昨今、公共事業予算も減少傾向が続いており、弊社もご多分に漏れず厳しい経営を余儀なくされています。そんな折、シルバー人材センターの存在を再認識し、少人数ではありますが活用を試みました。仕事内容は信濃川堤防の除草作業をお願いしまして、決して楽とは言えないと思いますが、気持ちよく働いてもらっています。作業現場では何かと住民の皆様方に迷惑をかけることも多々あるかと思いますが、シルバー人材センターの活用や社会資本の整備事業などを通して、少しでも社会貢献につながるものになればと願っています。

子育て支援だより 明るい子育てをお手伝い

各種手当の問い合わせは 生活福祉課 ☎89-4419

※このコーナーでは保育園からのお知らせと子育てに関連する情報を掲載します。

保育園つうしん

「大きくな〜れ!」

「がんばったよ 運動会」

9月27日(土)と10月4日(土)に町内4箇所の保育園で運動会が行われました。今年の天候には悩まされ、会場が屋内になった保育園もありました。でも天候を気にしているのは大人ばかり。いざ始まると子どもたちの目は輝き、よーいどんで真剣にゴールテープを目指して走り、「親子ゲーム」では、ほのぼのとした親子関係が見られ見物人からあたたかな拍手。おじいちゃんやおばあちゃんからも競技



▲アンパンマン音頭 踊ったよ



▲お兄ちゃんと追いかけて玉入れ

に参加していただき、子どもたちの「がんばれ!」コールに応じてはりきる姿はとてすてきでした。

地域の小さなお客様(未就園児)や小学生にもレースに参加してもらい一段と賑やかな盛り上がりとなりました。

なんとといっても、最後は親子リレー、お父さん、お母さんのパワー全開。我が子のために、そしてチームのために転倒しそうになりながらも最後まで走りきった親子の体験は、心に残る大切な思い出になったことと思います。

次世代育成・子育て支援に

行動計画を策定します

平成14年度の合計特殊出生率が1.32となり、一貫して少子化の流れは進んでいます。こうした流れを変えるため、国では地方公共団体や企業などが一体となって、少子化対策を推進するために「次世代育成支援推進法」を今年7月に制定しました。町は昨年度「川口町エンゼルプラン」を策定し「安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目標として」を基本に子育て支援の推進を図っています。この法律により、すべての地方公共団体は、平成17年3月までに、「地域における子育て支援」「親子の健康管理」「仕事と家庭の両立」などについて目標を定めた「行動計画」を策定することになりました。

子育て支援行動計画のアンケートにご協力を

新たに子育て支援の「行動計画」を策定するために、11月から12月にかけて子育て家庭に対するニーズ調査を実施することになりましたので、保護者の皆様には調査のご協力をお願いいたします。

問い合わせ 生活福祉課 ☎89-4419

合計特殊出生率とは
一人の女子が一生の間に生むとした時のこども数
〜一口メモ〜

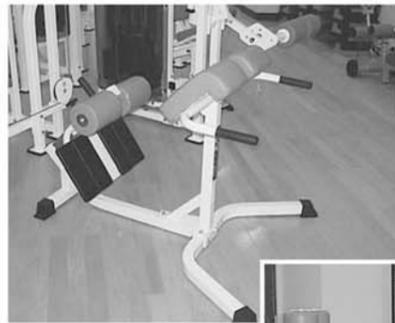


和楽美の湯トレーニングルーム

井上インストラクターのトレーニング器具紹介④



▶①ペントレッグアブドミナル



▶②バッグエクステンション



▶③ロータリートルソー

和楽美の湯トレーニングルームに設置された器具を利用した健康づくりや体力づくりの手法について紹介します。



専属インストラクター 井上なつき

皆さん、こんにちは。段々と空気が冷たく感じる季節になりましたが、風邪などをひいて、体調を崩したりしていませんか。

また、美味しい物を食べ過ぎて、服がきつくなったりしていませんか。ちょっと気になる方、トレーニングルームにお越しください。

さて、今月は、先月までご紹介した有酸素系の器具と一緒に使うと体がキレイに引き締まる筋力系の器具です。

全部で7台の器具が設置されており、鍛えられる体の部位は全て違います。今月と来月に分けて7台全てをご紹介したいと思います。

①の写真は「ペントレッグアブドミナル」です。お腹、いわゆる「腹筋」を鍛えるものです。脚を上げて、足首を固定する事で体を起こし易く出来ます。会員さんで最初、腹筋運動が出来なかった方

が、2カ月経った今では10回、5セットは楽に出来る様になり、しっかりお腹周りが引き締まったという結果が出ています。

②の写真は、「バッグエクステンション」という器具で「背筋」を鍛えます。「背筋」でも背中の下背の部位になります。腹筋と一緒に背筋を鍛える事で、お腹周りは引き締まります。腰痛を持っている方には、その症状に合わせた背筋運動をご紹介しますのでご相談ください。

③の写真は「ロータリートルソー」という器具で、内外腹斜筋、ウエストの部分をおねる事で鍛え、引き締めていきます。この器具は少し癖があるのですが、効果は必ず出ます。今月は、お腹周りに効果がある器具をご紹介しました。既にトレーニングを始められている会員さんの中には、ズボンが緩くなったとの声も聞こえています。

来月は、残り4台の器具のご紹介を致します。お楽しみに...では、またお会いしましょう。 ※トレーニングルームを利用するには登録講習会を受ける必要があります。詳しくはトレーニングルーム(89-3727)までお問い合わせください。

トレーニングルームを利用して

～登録者の声～



日頃の運動不足の為、足、膝の痛みで悩んでいましたが、地元こんな素晴らしい施設がある事を知り、8月初めに講習会を受講して早2カ月が過ぎようとしています。

定期的に運動をする事で、減量と膝の痛みを治すよう努力しています。

インストラクターと相談しながら、メニューを作りトレーニングを始めてからは、膝の痛みも多少楽になりつつあります。

主人も軽いヘルニアで足、腰が痛くて痺れもあり、病院での治療のほか、痛み止めの薬に頼る日々でしたが、私がトレーニングを薦めて一緒に体を動かしてからは、薬を飲まなくても足、腰の痛みが和らいできています。

また、二人とも体重、体脂肪の数値の変化も最近表れてきました。

運動が、これだけ体に良い事と身にしみて判ったので、これからもトレーニングを続けようと思えます。

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112

10月4日、東京都練馬区貫井町ぬくいちやうの親子90名が木沢地区で稲刈り体験を行いました。これは同地区で5月に田植えを体験した親子が、自分たちで植えた稲を刈り取るため、ふたたび来町したものです。

当日は、秋晴れの稲刈り日和、稲刈りを初めて体験する子どもたちは慎重にコンバインに乗ったり、慣れない手つきで鎌を持ちながらも真剣に取り組んでいました。

「まだ稲刈りをやめたくない」という子もいて、貴重な体験ができたことを喜んでいました。



東京都練馬区の親子が 稲刈り体験ツアー



練馬まつりに初参加

10月19日、(株)えちご川口農業振興公社が東京都練馬区の総合運動場で開催された練馬まつりに川口町として初参加しました。

1日に約13万人が訪れた運動場で川口町の農産物、加工品(漬物、温泉まんじゅう、笹だんごなど)を販売、新鮮野菜やマコモタケ、ズイキなどの珍しい野菜に川口の出店場所は大盛況で野菜はほとんど完売しました。

来年以降も参加して首都圏で川口町の物産などを広くPRしていく予定です。

10月18日に行われた式典では在校生が思い出の言葉、130周年を記念して作られた歌「はるかなるふるさと田麦山」を披露しました。

また同窓生で新潟大学管弦楽団に所属の桜井忠さんらの記念演奏会で出席者は昔を思い出しながら、バイオリンなどの美しい音色を聴いていました。



田麦山小学校 創立130周年記念式典

田麦山小学校は明治6年創立で卒業生総数は3,967名、地域に根ざした歴史と伝統のある学校です。

10月18日に行われた式典では在校生が思い出の言葉、130周年を記念して作られた歌「はるかなるふるさと田麦山」を披露しました。

また同窓生で新潟大学管弦楽団に所属の桜井忠さんらの記念演奏会で出席者は昔を思い出しながら、バイオリンなどの美しい音色を聴いていました。

勢ぞろい！泳ぐ芸術品

川口町錦鯉品評会

10月19日、相川サンウッドにおいて川口町錦鯉品評会が開催され、第18部から第65超部まで計172点が出品されました。審査結果は次のとおりです。(敬称略)

- 全体総合優勝 宮克則(荒谷)
- 最優秀賞 こだ養鯉場(牛ヶ首)
- 各部門優勝
- 第18部
 - 紅白 小林孝(木沢)
 - 三色 広井辰治(相川)
 - 光もの 小林孝(木沢)
 - その他 宮繁雄(荒谷)
- 第25部 こだ養鯉場(牛ヶ首)
- 第35部 増田正利(牛ヶ首)
- 第45部 星野国樹(木沢)
- 第55部 山崎清一(相川)
- 第65部 こだ養鯉場(牛ヶ首)
- 第65超部 宮克則(荒谷)



大会結果のお知らせ (敬称略)

北魚沼郡中学校新人大会結果

バレーボール女子
(10/1 堀之内町民体育館)
3位
卓球女子
(10/1 小出郷体育館)
(団体戦) 3位 佐藤 汐里
(個人戦) 3位 丸山・阿部組
女子ソフトテニス
(10/1 堀之内町月岡公園)
(個人戦) 3位 丸山・阿部組
陸上競技
(9/25 十日町陸上競技場)
(1年生男子)
走り幅跳び 3位 山田 大樹
(2年生男子)
走り高跳び 1位 広井 佳祐
(2年生女子)
走り幅跳び 3位 関 裕子
走り高跳び 2位 関 博子
110M H 3位 阿部 千裕

町内スポーツ大会結果

川口地域バレーボール大会
◆一般の部
優勝 排友会(川口町)
2位 1 or 8(小千谷市)
3位 M(小千谷市)
◆女子の部
優勝 川口レディース(川口町)
2位 川口町愛好会(川口町)
3位 M(小千谷市)

第1回町長杯親善軟式少年野球大会
(7/20~8/24 蒼丘の杜公園野球場)
優勝 東部ファイターズ
2位 泉水スポーツ少年団
3位 和南津中山野田少年野球団
第20回町内親善軟式少年野球大会
(10/5 蒼丘の杜公園野球場)
優勝 泉水スポーツ少年団
2位 和南津中山野田少年野球団
第38回川口町小学校親善運動会
(9/26日 川口小学校)
1位のみ掲載
◆100m走
5年男子 小宮山潤弥(川口)
5年女子 山田ほか(川口)
6年男子 佐藤 誠(川口)
6年女子 森山 靖菜(田麦山)
◆80M H
5年男子 内山 拓郎(田麦山)
5年女子 山森 絵莉(川口)
6年男子 小林 竜斗(泉水)
6年女子 水落 晴香(田麦山)
◆800m走
5年女子 森山みなみ(田麦山)
6年女子 水落 晴香(田麦山)
◆1500m走
5年男子 川上 侑介(川口)
6年男子 渡辺 裕也(田麦山)
◆走り幅跳び
5年男子 小宮山潤弥(川口)
5年女子 大湖 亜美(川口)
6年男子 渡辺 寛司(泉水)
6年女子 渡辺 寛子(川口)

◆走り高跳び
5年男子 大湖 晃(川口)
5年女子 山森 絵莉(川口)
6年男子 小林 竜斗(泉水)
6年女子 小見真理江(田麦山)
◆400M R
5・6年男子 川口小A
5・6年女子 田麦山小

スポーツフェスティバル・体育の日ゲートボール大会
(10/9 すぱーく川口)
優勝 貝の沢チーム
2位 和南津Aチーム
3位 中山チーム
第41回町民ゲートボール大会
(10/16 すぱーく川口)
優勝 和南津B
2位 田麦山B
3位 田麦山A・和南津A
第41回北魚沼郡小千谷市柔道選手権大会
(10/4 堀之内町民体育館)



第2回全国中学生ユニバーサルホッケー大会に初出場

10月12日、栃尾市で行われた全国中学生ユニバーサルホッケー大会に川口中チーム(10名)が出場しました。

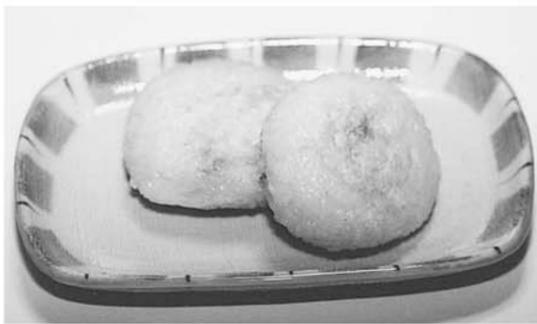
各県代表の強豪チームの中、健闘しましたが惜しくも予選敗退。その後の交流試合では、栃尾市内の中学生チームと対戦し2対1で川口中チームが勝利、対外試合初の勝利に選手全員笑顔で一杯でした。

◆中学生女子の部
優勝 関 なつみ(中3)
※前年度大会に引き続き2度目の優勝

ふるさとの味は健康のもと ②

山の幸・川の幸・里の幸
かわぐちのごっつお

ざ わ



いろいろを囲んで雑談をかわしながら食べたことから「ざわ」という名前がつけられた。炭焼き釜が完成したときや新米がとれた時の祝い、ご馳走として食べられた。

昔は、いろいろの渡しの上でこんがり焼いて食べたそうです。

●材料

- うるち米・もち米
- うるち米ともち米の割合は、同量もしくはうるち米2：もち米1程度の割合で炊く。

あづき 米1升にあづき3合

●作り方

- あづきを柔らかく煮て、塩と砂糖少々を加え、しょっぱめに味付けする。冷めたら丸めておく。
 - うるち米ともち米を混ぜて炊く。
 - 炊けたら、釜の中ですりこ木でつぶす。手水をつけ、手のひらの上で平たく広げ、中に塩あんを入れて丸める。
 - ホットプレートの上で両面こんがり焼く。
- *あんの味付けは塩味だけでなく、甘いあんやごま味噌・しょうが味噌を入れてもおいしい。
「かわぐちのごっつお」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から
丸山 フミ (長 坂) ☎89-2561
古田島房子 (中 山) ☎89-2014



21世紀は私たちが主役! ①



川上 耕一さん
(西倉)

川上さんは、長岡市の衣料品の卸会社でお仕事をされています。

歴史に興味があり、「ゆっくり日本の古城をめぐりたい」と話していました。

▼仕事の内容は…? 「衣料品を卸しているお店への営業などを行っています。県内はもちろん県外にも営業に出るので家にいないことが多いですね。お客さまと接する時には明るく楽しい話をする事や、元気にあいさつすることを心がけています。」▼いま一番楽しいことは…? 「保育園の行事に出たり、家族と遊びに出かけることが楽しみです。出張で家にいないことが多いので、特に家族との時間を大切にしています。」▼趣味は…? 「釣りをすることです。天気が良くて川の流が穏やかな日には、毎日でも釣りに出かけたくくなりますね。」▼これからやってみたいことは…? 「船に乗って海釣りをしてみたいです。」▼町に期待することは…? 「和楽美の湯から見える景色は素晴らしいと思います、このような町の景色を残して行ってほしいです。」

なつかしき思ひ出話を語り合ひお礼言ひつつ食事を共にす
降りつづく雨に稲田と裏はらに秋菜のみどり育ちゆくなり

森山 みえ
佐藤 美智

夏草を刈って拌める野の仏
青空の少なき夏の終りけり
梅の実に背伸びしてある老の腰
氣に懸る冷夏の中の稲穂かな
葉の陰の目こぼしの瓜太かりし

■川口町俳句大会 11月4日(火)
9時より表彰式(末広荘)
12時より築にて俳句会

■公民館句会 12月6日(出) 生涯学習センター
※出句締切 午後1時

宮 ヨキ
村山むら女
山田 チヨ
山田 久子
渡辺登子一

皆さんのページです。投稿をお待ちしています!
企画商工課 ☎89-3112

みんなの広場

「夢のもりまつり」を開催 中山地区集落夢づくり事業の取り組み



中山地区の地域づくりに取り組むふるさと夢づくりの会では、スキー場跡地を活用した地域づくり計画「夢のもり21プロジェクト」の実現に向け、皆で楽しみながら具体的な内容を検討したり地域内の交流を進めようと10月12日「夢のもりまつり」を開催しました。「心配していた天気も何とか持ち直し参加者35名元気がいっぱいでした。」



「さんご山」山頂に向かいました。山頂では西川口や遠くは田麦山集落も見える眺望の良さに、こんな素晴らしい眺めがあったのかと感動しつつ、凧あげを楽しみ、下山後は、中山神社でスキー場跡地の活用についてアンケートやパーベキューを食べながらの交流を行いました。活用についてアンケートの結果を見ると「四季の木や花を植えて皆の憩いの場にした」「山頂に展望台を」などの意見が多く、会ではこれらを参考に中山地区の宝ものとなる「夢のもり」の実現に向け、地域の皆さんと共に活動を進めたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。」

(ふるさと夢づくりの会代表 内藤ちい子)

元気です!かわぐちっこ ⑦

たい じゅ ちゃん (新敷・2歳)
吉澤 大樹
おとうさん おかあさん
智史さん 愛さん



外へ散歩に出かけることが好きな大樹くん、となりのトトロの「さんぽ」を歌いながら30分以上も歩きます。野球が好きでベクトルボールをバットがわりにして遊んでいます。大人になったら仮面ライダーファイズになりたい大樹くんでした。お母さんから一言：ピックになれよ!

俳句

大内迪子先生選 公民館句会(9月3日)

- ◎もらひ来し長茄子まな板はみだして
 - ◎術もなくただ見てをりし秋出水
 - ◎星流れ想ひ叶はぬことばかり
 - 兄逝きて侘びしき実家の蟬しぐれ
 - 万緑や舟唄詠り最上川
 - 外国の草も混じりて茂りたる
 - 吾に向く蛙と話し草むしる
 - 父の忌に父の好みし茗荷汁
 - 七夕の竹立つ家の小学生
 - 嘘隠し隠して西瓜弾きけり
 - 星ひとつまたたく闇にちろる鳴く
 - 野地蔵に気ままに絡む葛の花
 - 大根蒔きあと半列に日の短か
 - 退りたる下駄に踏まれし盆踊
- 星野 きの
覚張 次郎
上村 たつお
石坂 シゲ
岡村 佐和子
喜多村 キヨ
小宮 山トキ
佐藤 信
新宮 山紫
鈴木 良仙
藤田 節子
星野 智恵子
丸山 トシ
丸山 好枝